

地域の新規就農サポートマニュアル

包括的なサポート体制の 構築に向けて



一般社団法人全国農業会議所
全国新規就農相談センター

2021年(令和3年)3月

はじめに

本書は、令和2年度「地域の新規就農サポート支援事業」により新規就農者の円滑な地域での受入れ・定着のために必要となる地域のサポート体制の構築に関するマニュアルとして作成しました。

同事業では地域での新規就農者を受け入れ、サポートしていくための体制整備の支援や受入体制等に実績を有する地域等の事例調査などにも取り組んできました。これらの取組で得られた知見とともにアドバイザーボード（有識者会議）における意見を踏まえて、今後の新規就農者の受入体制を整備しようとする市町村や地域などの参考となるマニュアルを目指して作成したものです。

人口減少が本格化するわが国にあって、農業の担い手の確保・育成は喫緊の課題となっています。このため新規就農者の拡大に向けた取組を強化していくとともに新規就農希望者の夢である就農の実現をサポートしていく地域での体制整備が重要となります。

とりわけ一昨年暮れから世界的に蔓延する新型コロナウイルス感染症の影響で、新たに農業で活路を見出そうと検討される方も増えているところです。実際に当会議所の全国新規就農相談センターにも農業を志向する相談者が増えている状況です。

就農実現に向けて邁進できる環境を作り上げるためには、市町村、JA、農業委員会などの関係者が連携し、地域全体でサポート体制を構築することで新規就農希望者の不安や懸念を払拭し、新規就農者の受入れ、定着につなげることが不可欠です。

この冊子では、新規就農のサポートのポイントをまとめ、全国のモデルケース等を紹介しています。新規就農者対応の最前線ともなっている行政等の各担当者にとりまして、業務推進の一助となれば幸いです。

最後にマニュアル作成に当たり、ご協力いただいた市町村、農業委員会、都道府県農業会議等をはじめ、関係機関・団体、農業法人等の関係者の皆様、アドバイザーボードの皆様に深謝申し上げます。

令和3年3月

一般社団法人 全国農業会議所



このマニュアルの利用対象者

- 市町村農業所管課の新規就農担当者
- 市町村農業委員会の新規就農担当者
- JAの新規就農担当者
- 都道府県農業会議・農業振興公社の新規就農担当者
- 都道府県普及指導センターの普及指導員
- 農業法人組織の新規就農担当者
- 農業大学校、農業専修学校等、教育機関の新規就農相談者
- 新規就農者受け入れの農業諸団体関係者
- 各地域所在の指導農業士
- 新規就農研修者対応の指導農家、里親等

想定される利用場面

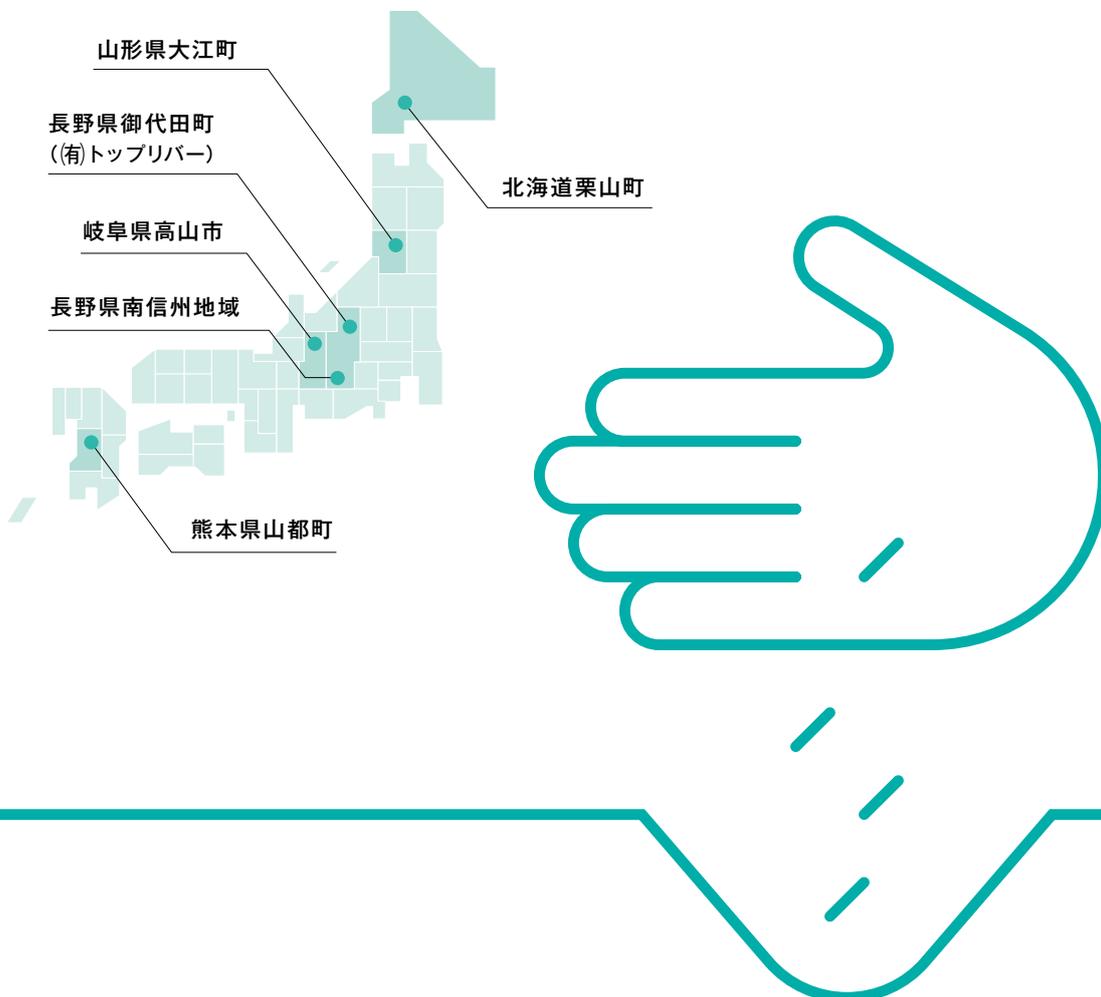
- 地域の新規就農支援の体制づくり
- 新規就農者受入プログラムづくりの検討
- 早期定着に導くためのプログラムの検討

◆農林水産省の「地域の新規就農サポート支援事業」に関するアドバイザリーボード

(五十音順・敬称略)

飯野 芳彦	全国農協青年組織協議会 参与
木之内 均	有限会社木之内農園 会長 東海大学経営学部 教授
木村 俊昭	東京農業大学 農生命科学研究所 教授
澤田 守 (座長)	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構企画戦略本部 農業経営戦略部 組織管理ユニット長
田中 俊昭	アイティーフラワー 代表
濱田 健司	一般社団法人日本農福連携協会 顧問 一般社団法人JA共済総合研究所 主席研究員
藤木 悦子	藤木農園
山本 淳子	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構企画戦略本部 農業経営戦略部 マーケティングユニット長

◆農林水産省の「地域の新規就農サポート支援事業」対象調査地区



地域の新規就農サポートマニュアル

包括的なサポート体制の構築に向けて



GUIDANCE

P.6 新規就農サポートのフロー

P.9 01 地域農業ビジョンを踏まえた方針の策定

P.10 **FOCUS 1** 地域農業のビジョンを明確化

P.12 **FOCUS 2** 地域が求める人材の明確化

P.14 **FOCUS 3** 新規就農者の定着につながる経営モデルの提示

P.17 02 就農希望者の呼び込み(就農相談窓口・就農相談会等)

P.18 **FOCUS 1** ワンストップ窓口を設置

P.20 **FOCUS 2** 相談の役割・機能を明確にさせ最適な体制で臨む

P.22 **FOCUS 3** 目的に合わせてインターネットを戦略的に活用

P.25 03 農業体験(現地見学)／インターシップの機会を提供する

P.28 1. 農業体験(現地見学)

P.28 **FOCUS 1** 就農につながる人材を獲得するため、参加者を幅広く呼び込む

P.30 **FOCUS 2** 実際の農業・生活と、参加者の思い描くイメージをすり合わせる

P.32 **FOCUS 3** 地域理解を促し、インターンシップに誘導

P.34 2. インターシップ

P.34 **FOCUS 1** 就農希望者が農業と地域への適性を判断する機会を提供する

P.37 **FOCUS 2** ミスマッチ防止のため、受入側も就農希望者をしっかり見極める

P.39 04 長期研修

P.40 **FOCUS 1** 研修プログラムの策定

P.44 **FOCUS 2** 研修を担う指導員を確保する

P.47 **FOCUS 3** 研修場所を確保する



P.51 05 就農準備支援

- P.52 **FOCUS 1** 営農計画の策定支援
- P.54 **FOCUS 2** 農地の確保・マッチング支援



P.59 06 早期自立支援

P.60 1. 就農直後

- P.60 **FOCUS 1** 初期投資の負担を減らす支援
- P.62 **FOCUS 2** 就農者への事業資金融資等の紹介／整備
- P.64 **FOCUS 3** 継続的な支援
- P.65 **FOCUS 4** 栽培した農作物の販路確保
- P.66 **FOCUS 5** 農業所得活が安定するまでの支援

P.68 2. 経営発展期

- P.68 **FOCUS 1** 経営力向上のための研修支援
- P.71 **FOCUS 2** 収益拡大による安定的な経営発展
- P.73 **FOCUS 3** 短期労働力の確保



P.75 07 地域への定着支援

- P.76 **FOCUS 1** 新規就農者向けの住宅確保
- P.78 **FOCUS 2** 地域コミュニティへの参画支援～地域農業者との交流～

P.81 08 新規就農サポート体制の確立

- P.82 **FOCUS 1** 新規就農サポート体制の専門組織を作る
- P.83 **FOCUS 2** 新規就農者への伴走支援を行う「サポートリーダー」の存在
- P.84 **FOCUS 3** 新規就農者を支える関係機関との連携体制の構築事例

CASE STUDY

P.94 農業法人を中心とした新規就農サポート事例

- P.94 長野県富士見町 (有)トッピーバー
- P.95 福井県若狭町 (有)かみなか農楽舎

INFORMATION

P.96 新・農業人ハンドブック(農林水産省)



新規就農サポートのフロー

01 地域農業ビジョンを踏まえた方針の策定

Check

- 地域農業のビジョンの明確化
・地域ビジョンの確認
- 新規就農者の働き方・人物像
・独立就農
・雇用就農
・地域外から呼び込み
・地域内から呼び込み
- 収益が見込める経営モデルの確立

▶▶▶ P.9



呼び込み

02 就農希望者の呼び込み

Check

- ワンストップ窓口を設置
・就農窓口の一本化
・移住セクションとの連携
- 相談の役割・機能を明確化
- インターネットを戦略的に活用

▶▶▶ P.17

マッチング (お試し期間)

03 農業体験(現地見学) / インターンシップ

Check

農業体験(現地見学)

- 参加者を幅広く呼び込む
- 就農・生活のイメージすり合わせ
- 地域理解を促し、インターンシップに誘導

インターンシップ

- 就農・生活のリアルな体験
- 受入側とのマッチング

▶▶▶ P.25



08 新規就農サポート体制の確立

新規就農者を地域に呼び込む前段階として、農業技術から生活支援まで包括的なサポート体制を地域で構築することが重要です。その体制をいかに維持・継続していくかも重要なポイントです。



就農希望者を就農・定着に導くためには、就農相談から就農・定着までの各ステップにおいて、地域の関係機関が連携した新規就農者をサポートする体制を構築し、多面的な支援を行うことが重要。

特に地域への定着に向けては、下記の04から06の対応を充実させることが望ましい。

研修・就農準備

就農後フォロー



地域の担い手

04 長期研修



- 研修プログラムの策定
・ 作目／実施方法
- 指導員の確保とスキル向上
・ 受入農家／外部リソースの活用
- 研修場所の確保
・ 地元農家／研修施設

▶▶▶ P.39

06 早期自立支援



就農直後

- 初期投資を抑える仕組みづくり
- 事業資金のサポート
- 技術力向上のフォローアップ
- 栽培した農作物の販路確保

経営発展期

- 経営力向上のための研修
- 収益拡大サポート
・ 規模拡大、土地生産性、高収益作物
・ 認定農業者制度の活用
- 短期労働力の確保

▶▶▶ P.59

05 就農準備 支援



- 営農計画の策定支援
- 農地の確保・マッチング
・ 経営継承
・ 農業団地整備

▶▶▶ P.51

07 地域への 定着支援



- 住宅の支援（研修生宿舎、空き家バンク）
- 地域コミュニティへの参画支援～地域農業者との交流～

▶▶▶ P.75



- 新規就農サポート体制の専門組織を作る
- 「サポートリーダー」が農業技術から生活支援までを伴走
- サポート体制の中心を担う組織と、関係組織との連携強化

▶▶▶ P.81



